

2022年10月13日
株式会社JR西日本イノベーションズ

「有田川バイオマス発電所」の運転開始について ～ 未利用間伐材の地産地消で再エネ発電と温浴施設への熱供給を実現 ～

株式会社JR西日本イノベーションズ（大阪市北区 代表取締役：奥野 誠、以下「JR西日本イノベーションズ」という。）が匿名組合出資[※]をする有田川バイオマス株式会社（和歌山県有田郡 代表取締役：原見 健也、以下「有田川バイオマス」という。）は、有田川バイオマス発電所（以下「本発電所」という。）の建設工事を完了し、本日、営業運転を開始しましたのでお知らせいたします。

記

本発電所は、和歌山県有田郡有田川町において、主に和歌山県産の未利用間伐材等を燃料とした、発電出力900kWのバイオマス発電所で、木質ガス発電方式を採用しています。

また、本発電所では、発電の際に生じた熱を併設するチップ製造工場へ供給し、燃料となる木質チップの乾燥に利用するほか、隣接する温浴施設へ熱供給を行うことで、地域資源のより一層の有効活用にご貢献します。

地元の皆さま、および関係各所の皆さまには、本発電所の建設工事にご理解・ご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

JR西日本グループは、地域の皆さまと一緒に地域活性化や地産地消の推進に取り組んでいくと共に、本発電所の運転を通じて脱炭素社会の実現に貢献し、「JR西日本グループ ゼロカーボン2050」の実現に向けても挑戦をしていきます。

※商法で規定される、独立した事業案件へ複数社（匿名組合員）が出資し、その営業から生じる利益を出資割合に応じて分配する出資形態で、匿名組合員は会社経営における権利および義務を有しません。

一般に、当該事業に関わる取引相手に対し名前が顕れないことから「匿名」と呼ばれます。

以上

【有田川バイオマス発電所の概要】

所在地	和歌山県有田郡有田川町大字修理川字西加九鬼 126 番 他
発電方式	木質ガス化発電
発電出力	900kW
発電電力量	約 650 万 kWh/年（一般家庭 約 2,000 世帯相当分）
燃料種別	木質チップ（主に和歌山県産の未利用間伐材等）
燃料使用量	約 1 万トン/年
運転開始	2022 年 10 月 13 日
熱供給開始	2022 年 10 月下旬（予定）
熱供給先	有田川町かなや ^{みょうえきよう} 明恵峡温泉

【有田川バイオマス株式会社の概要】

設立	2020年2月
所在地	和歌山県有田郡有田川町大字修理川字西加九鬼 126番
代表者	代表取締役 原見 健也
事業内容	バイオマス発電事業、熱供給事業等

【有田川バイオマス発電所の全景】



発電所の外観



有田川バイオマス発電所（左）と温浴施設「かなや明恵峡温泉」（右）

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に7番、8番、9番、11番、13番、15番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

